



▲変装グッズを身に付け、ビデオカメラに向かってさまざまな自然災害を分かりやすく解説するDr.ナダレンジャーと助手のナダレンコ

科学の不思議を体験 青少年のための科学の祭典古河大会@オンライン

12月12日・13日・19日に、青少年のための科学の祭典古河大会@オンラインが開催されました。

リアルタイム配信では、山際伸一先生(筑波大学)のほか5人の講師が科学実験や工作教室などを実施し、多くの子どもたちがパソコン越しに視聴。

Dr.ナダレンジャーこと納口恭明氏(防災科学技術研究所)の講義では、液状化実験ポトル「エッキー」などを実際に工作し、自然現象をミニチュアで再現するサイエンスショーが行われました。



▲火を扱うことが初めての小学生に優しくマッチの使い方を教える中学生

一緒に学ぼう！ 備えよう！

防災フェスタ IN 総和南中

11月21日、総和南中学校で地域の小学生や園児を招いて防災フェスタ(文部科学省学校安全総合支援事業)が開催されました。

各学年ごとに活動テーマを分け「救助レース」や「防災鬼ごっこ」などのレクリエーションやワークショップを実施。

理科室では「自宅にあるものでランプを作る」ワークショップが行われ、参加した小学生は真剣な表情で中学生に作り方を教わっていました。

全ての人の人権が尊重される社会に 人権について考える会

11月17日、コスモスプラザで人権について考える会を開催しました。市内小中学校の代表者6人による映像での人権作文の発表では、人権への思いや願いを主張。

講話では、茨城県人権教育室の倉持功氏による、人権が尊重されみんなが笑顔になれる社会を目指すという内容に、多くの人が聞き入っていました。



▲「障害と障がい」について話す倉持さん

古河文学館テーマ展示 鷹見久太郎と絵雑誌『コドモノクニ』「1ページの絵本」の原画



▲原画と豊かな発想により生まれた物語が展示されています

10月24日から1月21日まで、古河文学館で「『1ページの絵本』の原画」の展示を開催しています。毎年の募集企画「1ページの絵本」は、絵雑誌『コドモノクニ』の原画に物語を創作するもので、今年度は全国各地から5,586点の応募がありました。今回は過去に使われた原画や大賞作品を展示しているので、ぜひ足を運んでみてください。

城下町に隠された謎を解く 古河クイズウォークラリー 2020

11月14日、古河駅西口周辺で古河クイズウォークラリーが開催されました。地図を頼りに各所で出されるクイズの答えを4つの史跡や名所を巡って見つける街歩きを約150人が満喫。

参加者からは「普段は歩かない場所だから面白かった」「景品がもらえてうれしい」という声が聞こえました。



▲お休み処坂長には多くの人が立ち寄りました

急増する在住外国人支援のために 在住外国人生活相談



▲母国語による相談にも親身になって対応します

在住外国人支援センター(外国人アットホームin古河)では、各種母国語での生活相談やランドセル等学用品の無料貸し出しなどの生活支援を実施しています。昨年度の生活相談は111件あり、内容は家庭ごみの出し方や子どもの就学問題などさまざまです。悩みごとなどがある場合は気軽にご相談ください(詳細は34ページをご覧ください)。